

*****2008.11.10*****

CGL NEWS III Vol.14

Conference on Green Logistics in Japan

<http://www.logistics.or.jp/green/>

『CGL NEWS III』は、第3期環境会議メンバーの方々を対象として、環境会議の活動状況と行政動向に関する情報提供を発信しております。

<目次>

1. 締切間近:グリーン物流パートナーシップ 推進事業(普及事業)2次募集
(グリーン物流パートナーシップ会議)
2. 環境配慮型3PL手引きの作成について(国土交通省)
3. バイオ燃料の持続可能性に関する基準・指標のあり方について(農林水産省)
4. ロジスティクス環境会議関連
・グリーン物流研究会 活動報告

★

締切間近:グリーン物流パートナーシップ 推進事業(普及事業) 2次募集
(グリーン物流パートナーシップ会議)

★

前号でお伝えしました平成20年度のグリーン物流パートナーシップ 普及事業の2次募集の締め切りが11月12日(水)17時必着となっておりますので応募を検討されている方はご注意ください。

- * 普及事業とは、波及効果が高く、かつ持続可能な、物流分野におけるCO2排出量削減効果(省エネ効果)のある「普及型」プロジェクトのことです。

募集期間:平成20年10月17日(金)～平成20年11月12日(水)17:00必着

詳細は、下記グリーン物流パートナーシップ会議ホームページをご参照下さい。

<http://www.greenpartnership.jp/proposal/index.html>

★

環境配慮型3PL手引きの作成について(国土交通省)

★

国土交通省では、「3PL事業促進のための環境整備に関する調査検討委員会(座長:齋藤神奈川大学経済学部教授)」において、特に物流事業者の多くを占める中小物流事業者が「環境負荷軽減効果」を荷主に対して提案しながら3PL事業の拡大、継続を図るための方策について検討を行い、その結果を取りまとめた「環境配慮型3PL手引き」を公表しました。

主な内容は下記のとおりです。

○荷主企業に対応した改善提案への取り組み

・荷主企業の物流の環境負荷について「評価指標」を用いて診断し、改善提案を行う手法を解説するとともに取り組み効果の事例を紹介。

○行動計画の策定と目標の設定

・環境負荷軽減のための行動計画と目標の設定手法を解説。

○行動計画に基づく取り組みの推進、評価、計画の見直し

・PDCAサイクルを用いて、荷主に対して改善提案を続けていくためのポイントを

解説。

* なお、ロジスティクス環境会議で作成された成果物等も一部引用されております。

詳細は、下記国土交通省ホームページをご参照下さい。

http://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu02_hh_000013.html

★

バイオ燃料の持続可能性に関する基準・指標のあり方について(農林水産省)

★

農林水産省では、国際バイオ燃料基準検討会議において、科学的な観点から、農林水産分野におけるバイオ燃料の持続可能性に関する基準・指標のあり方について考え方をとりまとめ、公表いたしました。

詳細は、下記農林水産省ホームページをご参照下さい。

http://www.aff.go.jp/j/press/kanbo/kankyo/081105_1.html

★

【ロジスティクス環境会議】

第5回グリーン物流研究会 活動報告

★

第5回グリーン物流研究会が10月23日(木)に中央大学駿河台記念館で開催されました。

当日の講演概要(幹事による整理)が下記ブログ等に掲載されておりますので、ご関心のある方はぜひご参照下さい。

<ロジスティクス環境会議 ホームページ>

<http://www.logistics.or.jp/green/shiryo/index.html#04>

* 各項目をクリックしますと、下記ブログの該当ページに移動いたします。

<グリーン物流研究会 ブログ>

<http://plaza.rakuten.co.jp/greenlogistics/>

*****CGLNEWS Ⅲ 配信について*****

■本メールは第3期ロジスティクス環境会議
代表登録者・連絡窓口・研究会・委員会にご登録いただ
いている方に配信しております。(メールの登録のある方のみ)

■発信元: 社団法人日本ロジスティクスシステム協会

■お問い合わせ、配信停止・変更は: cgl@logistics.or.jp

(C)CGL NEWS All Rights Reserved.
